



太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日付 ▼情報 暦(こよみ) 天文現象 イベント 二十四節気						1 ・金星が西方最大離角 04:26 18:55
2 04:26 18:56	3 上弦 04:25 18:56	4 04:25 18:57	5 04:25 18:58 芒種	6 04:25 18:58	7 04:25 18:59	8 04:24 18:59 星空さんぽ
9 04:24 19:00	10 04:24 19:00	11 満月 04:24 19:01 入梅	12 04:24 19:01	13 04:24 19:01	14 04:24 19:02 トワイライト	15 04:24 19:02
16 04:24 19:03	17 04:24 19:03	18 04:24 19:03	19 ・夜明け前、東の空で月と土星が接近 下弦 04:25 19:03	20 04:25 19:04	21 04:25 19:04 ☆夏至	22 ・夜明け前、東の空で月と金星が接近 04:25 19:04 全編生解説
23 ・夜明け前、東の空で月と金星が接近 04:25 19:04	24 04:26 19:04	25 新月 04:26 19:05	26 04:26 19:05	27 04:27 19:05 星空コンサート	28 04:27 19:05	29 04:27 19:05
30 04:28 19:05	☆夏至 太陽の高度が一年で最も高くなるとともに、太陽が最も北寄りに沈む日。一年で最も昼の時間が長くなる。 反対に、一年で最も昼の時間が短いのは冬至。 冬至のころはゆず湯に入り、かぼちゃを食べなどの風習があるが、夏至のころの風習は全国的にもあまり多くない。 その理由は田植えや畑作業の忙しい時期だったためと考えられている。					

二十四節気



月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

芒種(ぼうしゅ)・・・稲や麦など芒(のぎ)のある穀物を植える。

夏至(げし)・・・昼の長さが最も長くなる。

プラネタリウムイベント情報!

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

夏の星空さんぽ

8日 15:50～16:40

見ごろの星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。

トワイライトプラネタリウム

14日 18:00～18:50

「Feel the Earth～Music by 葉加瀬太郎～」前半は今夜の星空解説

全編生解説プラネタリウム

22日 15:50～16:40

テーマ「夜空をさまよう星～惑星の見え方・動き方」(前半は今夜の星空解説)

星空コンサート

28日 18:30～19:30

「星空の下で楽しむアニメソングの世界」出演：洗足学園音楽大学 近藤ゼミの皆さん

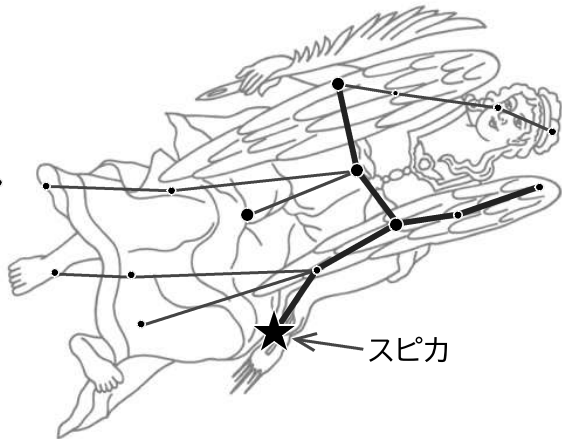


おとめ座

夜の早い時間帯に、南の空におとめ座がのぼっています。街灯りの少ないところでは、一等星スピカから連なるアルファベットのYの字型の星の並び(右図の太線)をたどることができます。

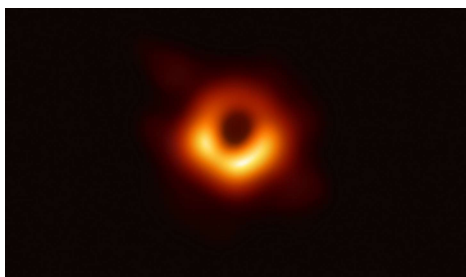
星座絵の女神の姿は、ギリシャ神話の農業の女神デーメーテルや、正義の女神アストレイヤなどといわれています。

左手に持つ麦の穂のあたりにスピカが光っていますが、この名前は麦の穂を表す言葉からついたと考えられています。もともと、このあたりには、畑で種をまくために土を盛った畝や、植物の葉を表す星座がありました。おとめ座の星には昔から、農作物に関係した名前や星座が考えられていたようです。



ブラックホールの撮影に成功!

2019年4月、世界で初めてブラックホールの撮影に成功したというニュースがありました。撮影されたのは、おとめ座のM87楕円銀河の中心にある巨大ブラックホールです。ブラックホールは光さえも抜け出すことができないくらい、重力の強い天体です。



Credit EHT Collaboration

← 明るいリングの内側の暗い部分が、輝くガスによって浮かびあがったブラックホールの影、ブラックホールシャドウです。ブラックホールはこの中にあります。

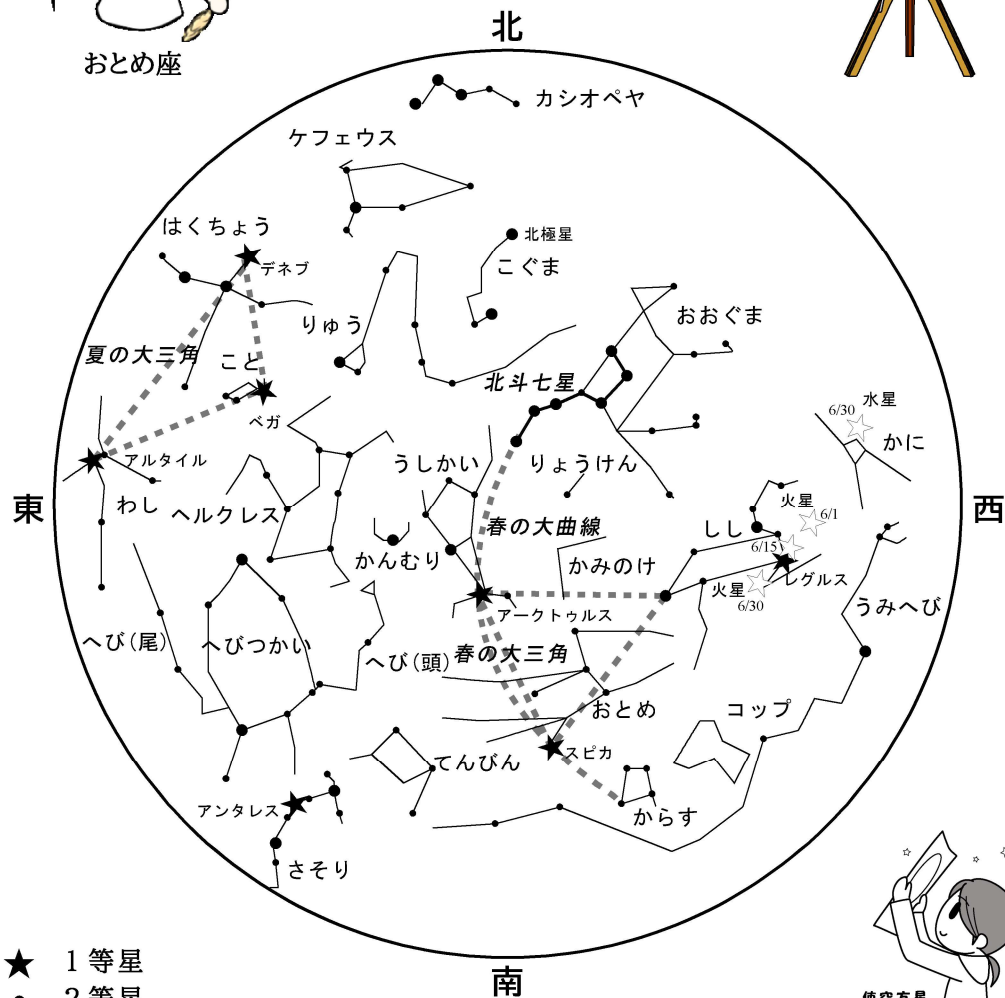
★かんたん星座早見★

6月

(月は描いてありません)



おとめ座



- ★ 1等星
- 2等星
- ・ 3等星
- ☆ 惑星

6月1日午後9時00分頃 6月15日午後8時00分頃 6月30日午後7時00分頃

